

事項	りんご育成系統「あおり12」の特性		
ねらい	<p>「あおり12」は昭和53年にりんご試験場で「北の幸」に「ジャージーマック」を交配し育成した系統であり、平成元年に一次選抜、平成7年に二次選抜され、平成9年4月に現地適応性試験に供試された。</p> <p>収穫時期は8月中旬で、着色が良く、酸味があり、食味の良好な極早生種として有望と見込まれるので参考に供する。</p>		
指導 参考 内容	<p>1 果実特性</p> <p>(1) 熟 期：8月中旬で、熟度が不揃い。</p> <p>(2) 大きさ：300g前後。</p> <p>(3) 果 色：濃紅色で縞が不明瞭。</p> <p>(4) 果 形：長円形。</p> <p>(5) 食 味：果肉はやや柔く、肉質はややち密で、果汁が多く、酸味が強い。</p> <p>(6) 日持ち：普通冷蔵で2週間ぐらい。</p> <p>2 その他の特性</p> <p>(1) 生 態：発芽日から落花日までは「ふじ」とほぼ同じ。</p> <p>(2) 樹 姿：樹姿は開張性で、結果枝は短果枝が多い。</p> <p>(3) 耐病性：斑点落葉病に対して抵抗性が強い。</p> <p>(4) 交雑和合性：遺伝子型からみて、「ふじ」、「つがる」、「王林」とは和合性と考えられる。</p> <p>(5) その他：熟度が揃わず、収穫前落果がみられるので、すぐりもぎが必要である。</p>		
期待される効果	<p>「あおり12」は8月中旬に収穫可能な極早生種で、外観や食味が良好である。現在、この時期に収穫できる有望な極早生種がなく、その空白期間をうめることで、消費者の多様な嗜好に対応し、消費拡大につながる。</p>		
利用上の注意事項	<p>本格的な苗木の供給は平成15年秋～16年春の見込みである。</p>		
担 当	青森県りんご試験場 育種部	対 象 地 域	県下全域
発 表 文 献 等	<p>果樹系統適応性・特性検定試験成績検討会資料（平成9～11年）</p>		

【根拠となった主要な試験成績】

表1 あおり12の生態 (平成9～12年 青森りんご試)

年	品 種 名	発 芽 日	開 花 日	満 開 日	落 花 日
平成9年	あおり12	4.8	5.8	5.12	5.16
	ふ じ	4.8	5.9	5.13	5.17
平成10年	あおり12	4.5	4.25	5.2	5.6
	ふ じ	4.4	4.24	5.2	5.6
平成11年	あおり12	4.15	5.8	5.13	5.19
	ふ じ	4.12	5.8	5.13	5.18
平成12年	あおり12	4.13	5.14	5.22	5.25
	ふ じ	4.11	5.15	5.19	5.25
平 均	あおり12	4.10	5.6	5.12	5.17
	ふ じ	4.9	5.7	5.12	5.17

注) 平成10年は異常に開花が早かった年

表2 あおり12の果実品質 (平成8～12年 青森りんご試)

年	収 穫 日	1果重 (g)	硬 度 (lbs)	糖 度 (%)	酸 度 (g/100ml)
平成8年	8.26	329	12.8	12.0	0.59
平成9年	8.17	270	12.5	11.6	0.61
平成10年	8.7	327	11.9	11.4	0.54
平成11年	8.15	303	12.6	13.5	0.69
平成12年	8.16	298	13.0	11.1	0.64
平 均	8.16	305	12.6	11.9	0.61

表3 あおり12の斑点落葉病抵抗性 (平成10～11年 青森りんご試)

調査年度 品種名	平 成 10 年			平 成 11 年		
	調査葉数	発病率(%)	被害度	調査葉数	発病率(%)	被害度
あおり12	15	0.0	0.0	15	0.0	0.0
つがる	15	0.0	0.0	15	0.0	0.0
ふ じ	15	100.0	46.7	15	20.0	4.4
スターキング	15	100.0	80.0	15	100.0	73.3

表4 あおり12の交雑和合性 (平成11年 青森グリーンバイオ)

品 種 名	S 遺伝子型	和 合 性
あおり12	S7SX	—
ふ じ	S9SF	○
つ が る	S3S7	○
王 林	S2S7	○